

事務事業名	33400 消防団活動費	予算科目	会計 一般 9	款 9	項 1	目 2	担当班	総務課消防団班
施策体系	基本施策 30 消防力の強化 施策の展開 59 非常備(消防団)消防体制の充実	根拠法令	消防組織法、旭市消防団条例、旭市消防団規則	戦略事業	260 消防団組織体制の再編	戦略事業	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・消防団員の確保や資質の向上に努めるとともに消防団組織体制の強化を図る。・消防団活動関連経費(火災等出動費、備品購入、団運営補助金、各種訓練経費等)・市民を各種災害から保護する為、旭市地域防災計画に基づき消防の役割を十分果たすことができるよう消防防災体制の充実、強化を図る。 <報酬>【消防団員の報酬(年額)】 団長 11万円、副団長7万2千円、分団長5万8千円、副分団長4万5千円、部長3万5千円、班長2万円、団員1万7千円 <補助金>【市内消防操法大会補助金(車両1台に対し)】 6万円/回(29箇所)、待機部3万円/回(20箇所)、【海匠支部操法大会(車両1台に対し)】 20万円/回(4チーム出場)、【県操法大会】 50万円/回 (25年度は不出場)【団運営補助金(歳末警戒・出初式補助金(車両1台に対し)】 各1万円 <費用弁償>【火災出動時(車両1台に対し)】 6千円/回、【各種訓練・警戒活動】 1千円/人	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
合併前から、各市町において、各消防団に対し支援していたものを、合併後も引き継ぎ統合したものである。	・平成21年度から団再編成を逐次開始し、18分団64箇所から16分団47箇所(49車両)体制に変更した。 ・消防団が使用する消防庫の老朽化が進んでいる。	住民から地域防災について、再編成以前と同水準の活動を望まれている。(分団数が統合されても。)

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円	
1.報酬	18,090: 本部役員、一般団員の報酬
2.旅費	7,317: 費用弁償
3.需用費	2,077: 消耗品費、食料費
4.備品購入費	60: 消防防災用備品費
5.その他	7,215: 負担金補助及び交付金、報賞費、役務費
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	0

事業費	費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
	1.報酬	千円	19,317	18,725	18,527	18,090	21,350
財源	2.旅費	千円	5,942	6,561	5,460	7,317	7,840
	3.需用費	千円	955	1,642	904	2,077	1,014
事業費計(A)	4.備品購入費	千円	186	390	518	60	98
	5.その他	千円	6,828	7,211	6,636	7,215	5,042
		千円	33,228	34,529	32,045	34,759	35,344
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	33,228	34,529	32,045	34,759	35,344

前年度増減理由	旅費は活動・訓練参加などが増えたため 需用費は団員の入替わり及び老朽化した被服を購入したため
---------	---

従事職員数 常時 2人 最大 3人 × 50日 = 延べ 150人

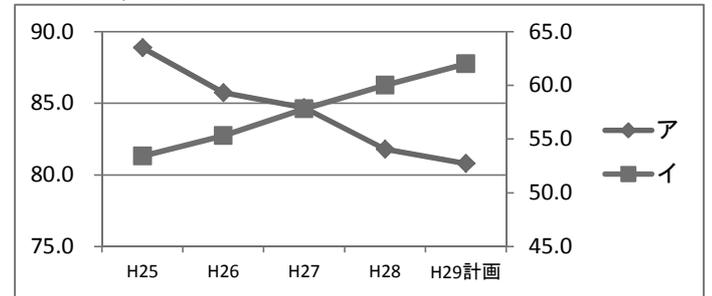
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ポンプ操法訓練 規律訓練、歳末警戒、出初式等 各種災害出動等	ア 各種訓練、歳末警戒、出初式等参加人数	人	18,661	18,355	15,251	15,315	14,500
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 各種災害等出動人数	人	1,119	1,863	924	1,637	1,250
	対象意図 消防団組織 班の統合による団員数適正化 対象意図 消防団員 訓練や研修により団員の資質が向上する。	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
		ア 団員充足率(団員数/団員定数)	%	88.9	85.7	84.7	81.8	80.8
		イ 消防団員の訓練参加率(全体訓練[6回]参加者/実人数×6)	%	53.4	55.3	57.8	60.0	62.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価優先度	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
	ある程度ある		中位 1/3
大きい	②	①	上位 1/3
普通		②	
小さい		③	(9)
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 数値増=成果向上 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 数値増=成果向上 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 比較 ア Δ2.8 Δ3.1 Δ1.0 Δ2.9 Δ1.0 イ Δ2.0 1.9 2.5 2.2 2.0
③ 今年度取組事項	内容 団員数の適正化(案)を作成 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他